



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 イチネンホールディングス
 コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 黒田 雅史
 (氏名) 井本 久子

TEL 06-6309-7890

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	35,812	0.4	2,916	29.7	2,686	37.5	1,595	17.2
23年3月期第3四半期	35,680	0.9	2,248	1.9	1,954	2.2	1,361	12.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,555百万円 (20.2%) 23年3月期第3四半期 1,294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	63.45	—
23年3月期第3四半期	54.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	78,707	16,997	21.6
23年3月期	77,544	15,894	20.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,988百万円 23年3月期 15,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	3.7	3,200	1.6	2,830	2.2	1,310	△11.8	52.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	25,163,727 株	23年3月期	25,163,727 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	10,877 株	23年3月期	10,816 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	25,152,877 株	23年3月期3Q	25,152,978 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧や個人消費の持ち直し傾向が見られ、全体として、回復の兆しが見られるようになりましたが、欧米諸国における財政問題を原因とする円高問題や長引くデフレ問題等により、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、株式会社イチネンホールディングスを純粋持株会社とし、傘下の各事業会社が独立経営を進めながら、グループ一体経営を推進しております。

現在、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の5つの事業を展開しており、新たに「カーシェアリング事業」にも参入しております。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、358億12百万円（対前年同期比0.4%増）、営業利益は29億16百万円（対前年同期比29.7%増）、経常利益は26億86百万円（対前年同期比37.5%増）、四半期純利益は15億95百万円（対前年同期比17.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<リース事業>

リース事業におきましては、中小規模の企業のみならず、大手企業を含むあらゆる車両需要先企業をターゲットに投資効率を重視したリース契約の増加に努め、リース契約満了時における解約阻止にも注力いたしました。また、東日本大震災の影響による新車入替時の納車の遅延は正常化しつつありますが、当第3四半期連結累計期間における再リース契約の比率は依然として高い水準となっております。

この結果、平成23年12月末現在リース契約台数は57,416台（対前期末比1,354台増）となり、リース契約高は153億31百万円（対前年同期比4.0%減）、リース未経過契約残高は435億9百万円（対前期末比0.4%減）となりました。

損益面では、低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、採算販売の徹底により粗利益率の改善に取り組んでまいりました。また、リース契約終了後の車両処分については、東日本大震災以降の中古車市場の大幅な変動に影響されることなく堅調に推移いたしました。しかしながら、新車入替時の納期遅延による再リース契約比率の上昇、並びにリース契約車両の小型化の影響は大きく、この結果、売上高は169億99百万円（対前年同期比1.1%減）、セグメント利益は9億63百万円（対前年同期比11.7%増）となりました。

なお、平成23年1月より新規参入いたしましたカーシェアリング事業については、早期に軌道に乗せることを目指し、会員獲得に努めております。

<自動車メンテナンス受託事業>

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い、収益向上に努めてまいりました。

この結果、メンテナンス受託契約高は36億54百万円（対前年同期比1.1%増）、メンテナンス未経過契約残高は64億68百万円（対前期末比3.4%増）となりました。

損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。また、中古自動車の販売が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は58億83百万円（対前年同期比3.8%増）、セグメント利益は3億90百万円（対前年同期比57.2%増）となりました。

<燃料販売事業>

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力いたしました。

損益面では、自動車用燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施いたしました。また、引き続き大口取引先との取引内容を大幅に改善いたしました。

この結果、売上高は20億41百万円（対前年同期比6.5%増）、セグメント利益は5億11百万円（対前年同期比67.2%増）となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤、船舶用燃料添加剤ともに売上数量は前年同期より減少いたしました。一方、化学品関連では、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が前年同期より増加いたしました。また、機械工具商向け化学品等についても堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は82億42百万円（対前年同期比0.8%減）、セグメント利益は6億66百万円（対前年同期比29.7%増）となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

この結果、平成23年12月末現在駐車場管理件数は617件（対前期末比19件増）、管理台数は16,290台（対前期末比1,122台増）となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、駐車場管理受託の管理件数20件（対前期末比1件増）及び管理台数1,343台（対前期末比432台増）を含めております。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、病院附帯の駐車場の新規管理受託契約を含め、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は26億68百万円（対前年同期比3.2%増）、セグメント利益は2億48百万円（対前年同期比25.7%増）となりました。

<その他>

その他におきましては、卸売自動車用品の販売高が前年同期を下回りましたが、保険等が安定した収益を確保いたしました。

この結果、売上高は3億19百万円（対前年同期比5.7%減）、セグメント利益は1億28百万円（対前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は326億90百万円となり、前連結会計年度末残高325億82百万円と比べて1億8百万円増加いたしました。これは手元流動性の確保等による「現金及び預金」の増加4億80百万円、「リース・メンテナンス未収入金」の増加2億19百万円、燃料販売事業の売上増に伴う「受取手形及び売掛金」の増加1億46百万円、ファイナンス・リース取引の契約残高の減少に伴う「リース投資資産」の減少8億18百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は459億76百万円となり、前連結会計年度末残高449億5百万円と比べて10億71百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加に伴う「賃貸資産」の増加18億22百万円、「のれん」の償却による減少3億12百万円、法定実効税率の変更等による「繰延税金資産」の減少1億80百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は40百万円となり、前連結会計年度末残高57百万円と比べて、17百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第3四半期連結会計期間末残高787億7百万円となり、前連結会計年度末残高775億44百万円と比べて、11億62百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は300億56百万円となり、前連結会計年度末残高274億57百万円と比べて25億98百万円増加いたしました。これは「1年内返済予定の長期借入金」の増加19億66百万円、「短期借入金」の増加15億83百万円、「コマーシャル・ペーパー」の増加5億円、「1年内償還予定の社債」の減少15億50百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は316億53百万円となり、前連結会計年度末残高341億93百万円と比べて25億39百万円減少いたしました。これは「長期借入金」の減少20億33百万円、「リース債務」の減少3億45百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第3四半期連結会計期間末残高617億10百万円となり、前連結会計年度末残高616億50百万円と比べて、59百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は169億97百万円となり、前連結会計年度末残高158億94百万円と比べて11億3百万円増加いたしました。これは、「四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加15億95百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少4億52百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より4億80百万円増加し、27億66百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億35百万円（前年同期は△25億4百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が26億44百万円となったこと、「法人税等の支払額」が△5億95百万円となったこと及びリース・メンテナンス未収入金の増加等により「その他」が△8億15百万円となったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△4億1百万円（前年同期は△3億6百万円）となりました。これは主に、パーキング事業における機器及び構築物の購入等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△4億13百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△2億53百万円（前年同期は33億11百万円）となりました。これは主に、「社債の償還による支出」△27億40百万円が「社債の発行による収入」9億95百万円を上回った一方、「短期借入れによる収入」38億50百万円が「短期借入金の返済による支出」△22億66百万円を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしました。通期の業績につきましては、わが国経済の先行きは、依然として不透明であり厳しい状況が続くと思われまますので、現時点では、平成23年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.60%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.96%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.59%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は103,128千円減少し、法人税等調整額は96,572千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,296,558	2,776,598
受取手形及び売掛金	6,368,314	6,514,681
リース・メンテナンス未収入金	1,731,587	1,951,358
リース投資資産	18,002,045	17,183,457
商品及び製品	685,427	775,872
仕掛品	88,170	61,230
原材料及び貯蔵品	245,449	247,960
前払費用	1,573,773	1,860,545
繰延税金資産	685,404	664,954
その他	907,420	654,566
貸倒引当金	△2,000	△1,000
流動資産合計	32,582,151	32,690,224
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	41,717,789	44,445,520
減価償却累計額	△23,735,259	△24,640,246
貸貸資産(純額)	17,982,530	19,805,274
土地	12,336,746	12,336,746
その他	9,336,662	9,497,287
減価償却累計額	△5,543,158	△5,802,851
その他(純額)	3,793,504	3,694,435
有形固定資産合計	34,112,781	35,836,456
無形固定資産		
のれん	5,197,668	4,885,250
その他	547,375	450,021
無形固定資産合計	5,745,043	5,335,272
投資その他の資産		
投資有価証券	1,926,679	1,869,385
長期前払費用	1,008,268	1,015,669
繰延税金資産	918,629	737,762
その他	1,577,072	1,545,070
貸倒引当金	△383,373	△363,170
投資その他の資産合計	5,047,276	4,804,717
固定資産合計	44,905,102	45,976,447
繰延資産	57,734	40,629
資産合計	77,544,988	78,707,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,020,592	7,074,199
短期借入金	4,016,700	5,600,000
コマーシャル・ペーパー	500,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	3,720,000	2,170,000
1年内返済予定の長期借入金	9,217,341	11,183,635
リース債務	780,248	643,490
未払法人税等	225,363	465,781
リース・メンテナンス前受金	960,259	754,559
賞与引当金	257,000	148,000
その他	760,030	1,016,791
流動負債合計	27,457,535	30,056,457
固定負債		
社債	4,890,000	4,700,000
長期借入金	27,095,696	25,062,302
リース債務	974,258	628,331
退職給付引当金	583,832	599,180
役員退職慰労引当金	130,599	152,561
資産除去債務	170,612	176,615
その他	348,383	334,571
固定負債合計	34,193,383	31,653,563
負債合計	61,650,918	61,710,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529,135	2,529,135
資本剰余金	4,155,974	4,155,974
利益剰余金	9,249,231	10,392,448
自己株式	△6,002	△6,026
株主資本合計	15,928,339	17,071,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,190	△83,171
その他の包括利益累計額合計	△43,190	△83,171
新株予約権	8,920	8,920
純資産合計	15,894,069	16,997,280
負債純資産合計	77,544,988	78,707,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	35,680,920	35,812,211
売上原価	26,861,337	26,478,368
売上総利益	8,819,583	9,333,843
販売費及び一般管理費		
役員報酬	382,834	384,685
給料手当及び賞与	2,698,742	2,706,052
賞与引当金繰入額	149,686	144,779
退職給付費用	197,172	205,958
役員退職慰労引当金繰入額	29,213	27,831
貸倒引当金繰入額	72,517	△14,019
のれん償却額	312,976	312,417
その他	2,727,478	2,649,222
販売費及び一般管理費合計	6,570,622	6,416,927
営業利益	2,248,960	2,916,915
営業外収益		
受取配当金	38,251	37,622
その他	48,791	59,086
営業外収益合計	87,042	96,708
営業外費用		
支払利息	289,090	255,678
支払手数料	16,827	26,434
その他	76,053	44,547
営業外費用合計	381,971	326,660
経常利益	1,954,031	2,686,963
特別利益		
固定資産売却益	1,536	65
投資有価証券売却益	38,127	12,781
貸倒引当金戻入額	42,730	—
負ののれん発生益	48,027	—
特別利益合計	130,422	12,846
特別損失		
固定資産除売却損	35,868	52,264
投資有価証券売却損	2,020	—
投資有価証券評価損	870	3,091
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	70,100	—
特別損失合計	108,859	55,355
税金等調整前四半期純利益	1,975,593	2,644,454
法人税、住民税及び事業税	439,037	832,607
法人税等調整額	175,263	215,878
法人税等合計	614,301	1,048,485
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361,292	1,595,969
四半期純利益	1,361,292	1,595,969

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361,292	1,595,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,716	△39,981
その他の包括利益合計	△66,716	△39,981
四半期包括利益	1,294,575	1,555,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,294,575	1,555,987
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,975,593	2,644,454
減価償却費	4,358,251	4,688,448
のれん償却額	312,976	312,417
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,191	△17,203
受取利息及び受取配当金	△44,796	△38,967
支払利息	289,090	255,678
売上債権の増減額 (△は増加)	△560,419	△146,366
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△160,596	△149,012
リース投資資産の純増減額 (△は増加)	214,667	612,266
貸貸資産の純増減額 (△は増加)	△5,788,948	△5,713,101
仕入債務の増減額 (△は減少)	△97,562	60,438
利息及び配当金の受取額	45,014	39,450
利息の支払額	△279,135	△258,286
法人税等の支払額	△1,299,866	△595,785
法人税等の還付額	109,908	256,160
その他	△1,600,685	△815,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,504,316	1,135,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△586,491	△413,477
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,593	125
固定資産の除却による支出	△5,780	△4,204
投資有価証券の取得による支出	△15,394	△81,323
投資有価証券の売却による収入	122,791	47,859
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	141,730	—
その他	45,531	49,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306,019	△401,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,140,000	3,850,000
短期借入金の返済による支出	△2,586,490	△2,266,700
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	13,000,000	15,500,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△10,000,000	△15,000,000
長期借入れによる収入	6,203,710	7,150,000
長期借入金の返済による支出	△7,178,621	△7,210,067
社債の発行による収入	988,931	995,431
社債の償還による支出	△1,640,000	△2,740,000
リース債務の返済による支出	△41,872	△46,449
配当金の支払額	△553,368	△452,751
その他	△20,607	△32,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,311,681	△253,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	501,345	480,040
現金及び現金同等物の期首残高	1,913,435	2,286,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,414,781	2,766,598

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客 への売上 高	17,055,897	5,481,366	1,909,183	8,310,744	2,585,118	35,342,310	338,609	35,680,920	—	35,680,920
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	126,550	187,518	8,086	—	—	322,155	—	322,155	(△322,155)	—
計	17,182,448	5,668,885	1,917,269	8,310,744	2,585,118	35,664,466	338,609	36,003,076	(△322,155)	35,680,920
セグメント 利益	862,320	248,176	305,990	513,528	197,675	2,127,691	112,269	2,239,960	9,000	2,248,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客 への売上 高	16,892,817	5,672,369	2,024,600	8,242,843	2,660,135	35,492,767	319,444	35,812,211	—	35,812,211
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	106,542	211,180	16,813	—	8,151	342,687	—	342,687	(△342,687)	—
計	16,999,360	5,883,549	2,041,413	8,242,843	2,668,286	35,835,454	319,444	36,154,899	(△342,687)	35,812,211
セグメント 利益	963,357	390,241	511,737	666,092	248,433	2,779,863	128,052	2,907,915	9,000	2,916,915

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。